

桐生市長

荒木恵司様

# 要望書

桐生市議会

## 要 望 書

桐生市議会は、市民の皆様から信託を受け、頂戴した議員としての職責を全うするため、日々、議会改革に取り組んでおります。

活動の中では、「議会報告会・意見交換会」や「まちづくり討論会」を開催し、市民の皆様から多くの御意見や御要望を頂戴するとともに、議会モニター制度の本格的導入や議員主導による市議会出前講座の開設など、住民参画に関する新たな取組を行いました。

その中の市民の皆様の声を政策化する取組の一つとして、平成30年度から実施している当初予算要望に関しては、今年で3年目を迎えるため、議会PDCAサイクルを考慮し、過去に提出した要望書の検証を各常任委員会で行った結果、要望内容がどのように予算に反映されているかについて、確認することができました。

今年度においても、市民の皆様からの御意見や議員個々の活動により拝聴した地域住民の皆様からの生の声に加え、樹徳高校生や桐生信用金庫職員に御協力いただき開催した「まちづくり討論会」での御意見、御要望等を踏まえ、今、桐生市にとって何が必要か、何をどう進めるべきかなどについて、慎重に協議を重ね、各常任委員会で3項目ずつ、計9項目に予算要望項目を絞り込みました。

令和3年度当初予算編成に当たっては、本市の厳しい財政状況に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による今後の市税収入の悪化や地域経済の停滞が懸念されるなど、先行きが不透明な状況にあることは理解しておりますが、この要望は、今後の桐生市の持続的発展や活性化等を願い、全議員が熟慮を重ね、全議員の総意として提出するものでありますので、是非とも御検討の上、令和3年度当初予算に反映していただきますよう、強く要望いたします。

令和2年9月16日

桐生市議会  
議長 北 川 久 人

# 令和3年度 桐生市議会当初予算要望

## I 総務委員会

### ◎防災に関すること

避難所開設運営マニュアルに基づく地域住民と連携した避難所運営方法の確認を行うとともに、民間事業者等との土地・建物の利用、物資提供等に対する協定締結の更なる推進を強く要望いたします。

### ◎職員の研修に関すること

リモートワーク等により確実に研修が実施できる体制を構築し、SDGsや公民連携の推進など、時代の変化に対応した政策の立案や質の高い市民サービスを提供するための知識習得の機会を拡大するとともに、不祥事防止対策を目的とした職員研修を会計年度任用職員も含めた全職員に実施することを強く要望いたします。

### ◎公共交通に関すること

市内における交通手段の現状調査等の結果を踏まえ、AIを用いた配車システムなどを活用した新里町及び黒保根町デマンドタクシーの効率的な運用方法の調査・研究を実施することを強く要望いたします。

## Ⅱ 経済建設委員会

### ◎勤労者及び事業者への経済支援対策を図ること

新型コロナウイルス感染症拡大により、収入減少している勤労者に対してはその実態調査を行ったうえで適切な支援策を講じ、売上激減している小規模事業者や個人経営者、また観光事業者に対しては、事業廃業とならないように更なる経済支援策を講ずることを強く要望いたします。

### ◎グリーンスローモビリティを活用した観光対策を図ること

県内からのマイクロツーリズムや県外からの着地型観光を促進するため、グリーンスローモビリティを活用し、商店街と連携した市内散策、市内周遊観光を行うことで、目に見える経済効果があるような事業の予算化を強く要望いたします。

### ◎市内外からの産業振興対策を図ること

市内消費を促進し、地域経済循環率を高めるため、桐生市金券の発行について調査・研究をすること。また、コロナ時代に対応するため、市内外に向けた市製品の紹介や販売ができるサイトを、関係団体等と連携して構築し、デジタルマーケティングを活用することを強く要望いたします。

### Ⅲ 教育民生委員会

#### ◎教員の人数を増やすこと

新型コロナウイルス感染症の収束目途が未だ不透明な中、「新しい生活様式」の普及やその浸透の活動に取り組む教育現場最前線における負荷は、多大なものとなっており、物理的にマンパワー不足に陥っている。教員の人数を増やす、人的支援体制の強化を強く要望します。

#### ◎教育相談員の拡充と更なるスキルアップを図ること

個性や多様性を尊重し合い、それぞれが輝くことができる環境こそが、これからの未来を担う子ども達には必要である。いじめや不登校のほか、様々な課題や子ども達から寄せられるニーズに応じていくことができるよう、教育委員会にて先進事例の研究を行い、市独自の教育プログラムを策定、教育相談員の拡充と更なるスキルアップを強く要望します。

#### ◎医師人材の確保と医療体制の整備に関すること

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、見えないウイルスとの闘いに脅かされ、あっという間に日常の生活は一変した。地域を支える医療機関の最前線における負荷は増大する一方、地域により寄り添う医療体制の構築は急務で必要である。人的・物的な支援強化を強く要望します。